

部 会 報 告

ISO/TC 127/SC 2/WG 16 (ISO 13766 土工機械—電磁両立性) 2016年5月ドイツ・フランクフルト市 国際作業グループ会議報告

標準部会 ISO/TC 127 土工機械委員会国際専門家 (Expert) 吉田 克美 (コマツ)

2016年5月に国際標準化機構 ISO の専門委員会 TC 127 (土工機械) 傘下の国際作業グループ ISO/TC 127/SC 2/WG 16 (ISO 13766 土工機械—電磁両立性改正) 会議がドイツ国フランクフルトアムメイン市で開催され、協会標準部会 ISO/TC 127 土工機械委員会から国際専門家 (Expert) として出席した吉田氏の報告を紹介する。

- 1 開催日：2016年5月23, 24日
- 2 開催地：ドイツ国フランクフルトアムメイン市
VDMA ATRICOM 会議室
- 3 出席者：16名
ドイツ (DIN) 6名, 米国 (ANSI) 5名, 英国 (BSI) 1名, フランス (AFNOR) 1名, スウェーデン (SIS) 1名, チェコ (UNMZ) 1名, 日本 (JISC) 1名
- 4 会議概要：

これまでの議論をふまえ、ISO/DIS 13766-1, -2 ドラフト案が提示され、反対がなければ FDIS をスキップしたいとの提案を受けたが、日本、スウェーデンからの反対があり、FDIS が回議されることとなった。

日本からの意見である「法的制約」については理解が得られ、屋外試験に対する補足を追加することになったが、BCI法の拡張については「これまでも十分議論を重ねてきた」として認められなかった。

EMS試験はRF照射を基本とし、法的、物理的制約がある場合の代替法として「1GHzまでは建機本体でのBCI試験法」と「1GHz以上はESAシステムでのRF照射法」の組合せでもよいとされた。

また、BCI法では、参照規格との整合性からTWC法も追加となり、BCI法：～400MHz、TWC法：400

MHz～と示された。WGとして速やかに合意形成する必要があり、WebEx会議で日本側と意見調整を図ることとなった。

5 主な審議点：

Part 1：

- ①車両 TWC 試験の追加
→BCI試験の他、400～1000MHzについてはTWC試験法も示された。
- ②車両 BCI 試験の適用周波数範囲
→適用試験周波数は20～1000MHz。
※1～2GHzはあくまでも放射電界試験で
- ③EMC指令への対応
→ISO/DIS 13766-1 附属書に明記された。
(Part1がEMC指令の要求レベル)

6 今後の予定：

審議内容を再度事務局でまとめ、修正原案として再提示される。

この修正原案について、2016年6月にWebEx会議を開催する(日本時間20:00～)。

(後記：協会事務局より接続し、国内関係者も参加した。再度日本案を示したが、却下された)

7 所感：

これまでのWG会議の中でも議論されてきたが、「ESAシステムでのRF照射法」に対する記述が懸念されるので、最終文案を注視したい。

(後記：2017年5月にFDIS投票が締め切られた。ISO/CENで承認されたが、CENコンサルタントによりPart2のEU官報への掲載が差し止められ、適合規格として認められない問題が生じている)